

平成30年7月刊行

消防年報

野津分署10年のあゆみ



白杵市消防署野津分署

目 次

第1章 総 務

1. 管内の概況	1
2. 消防本部・消防署・分署・消防団の名称・位置及び管轄地域	2
3. 管轄面積、人口及び世帯数	2
4. 野津分署のあゆみ	3
5. 消防組織機構図	5
6. 野津分署の事務分掌	6
7. 消防予算	7
8. 消防職員の現況	8
9. 消防庁舎等の現況	9
10. 車両・ポンプの状況	10
11. 消防資機材配置状況	11
12. 消防団の現況	12

第2章 予 防

13. 火災発生状況	13
14. 火災発生原因	14
15. 防火対象物数及び査察回数	15
16. 危険物施設の現況	16
17. 自主防災会組織結成状況	17

第3章 警 防

18. 救急発生状況	18
19. 発生場所及び管外搬送人員の状況	19
20. 消防水利の現有状況	20

第4章 そ の 他

21. 気象の状況	21
22. 野津消防団の沿革	22
23. 全国統一防火標語	23

ま え が き

平成17年の市町合併を経て平成19年4月1日に臼杵市消防署野津分署が稼動しました。それから10年以上が経過し、その間、様々な災害に対処し現在に至っています。

この冊子は、臼杵市消防署野津分署の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、内容は予算に関係ある事項については会計年度とし、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表しています。

平成30年7月

臼杵市消防署野津分署

第1章

総務

- 1 管内の概況
- 2 消防本部・消防署・分署・消防団の名称・位置及び管轄地域
- 3 管轄面積、人口及び世帯数
- 4 野津分署のあゆみ
- 5 消防組織機構図
- 6 野津分署の事務分掌
- 7 消防予算
- 8 消防職員の現況
- 9 消防庁舎等の現況
- 10 車両・ポンプの状況
- 11 消防資機材配置状況
- 12 消防団の現況

1. 管内の概況

臼杵市野津地域は、県都大分市の南30kmに位置しており、人口約8千人、面積139.2km²で、地域の中央部を野津川が北流し大野川に合流しています。この野津川周辺の水田地帯と、北西部の畑地帯からなる農業中心の地域です。また、とんち話で有名な吉四六（きつちよむ）さんの里として知られています。

気候は南海型気候に属し平地気候と山地気候のほぼ中間にあり、一部の山岳地帯を除いて、平均気温は15～16℃と四季を通じて概ね温暖であり、自然条件に恵まれています。



野津分署

位置：臼杵市野津町大字宮原4267番1

敷地面積：6,060.23m²

建築面積：589.7m²

平成19年2月20日竣工



2. 消防本部・消防署・分署・消防団の名称・位置及び管轄地域

区分	名称	住所	管轄区域
本部	臼杵市消防本部	臼杵市大字前田 1851 番 4	臼杵市及び同地先海域
署	臼杵市消防署	同上	旧臼杵市全域
分署	野津分署	臼杵市野津町大字宮原 4267 番 1	旧野津町全域
消防団	臼杵市消防団 臼杵方面隊 野津方面隊	臼杵市大字前田 1851 番 4	旧臼杵市全域 旧野津町全域

3. 管轄面積、人口及び世帯数

位置

区分	東 経	北 緯
野津分署	131度41分17秒	33度03分04秒

広さ

野津管内	139.19 km ²
------	------------------------

人口及び世帯数（野津地域）

人 口			世帯数
男	女	計	
3,719	4,131	7,850	3,254

※人口及び世帯数は、平成29年3月31日現在の住民登録基本台帳による。



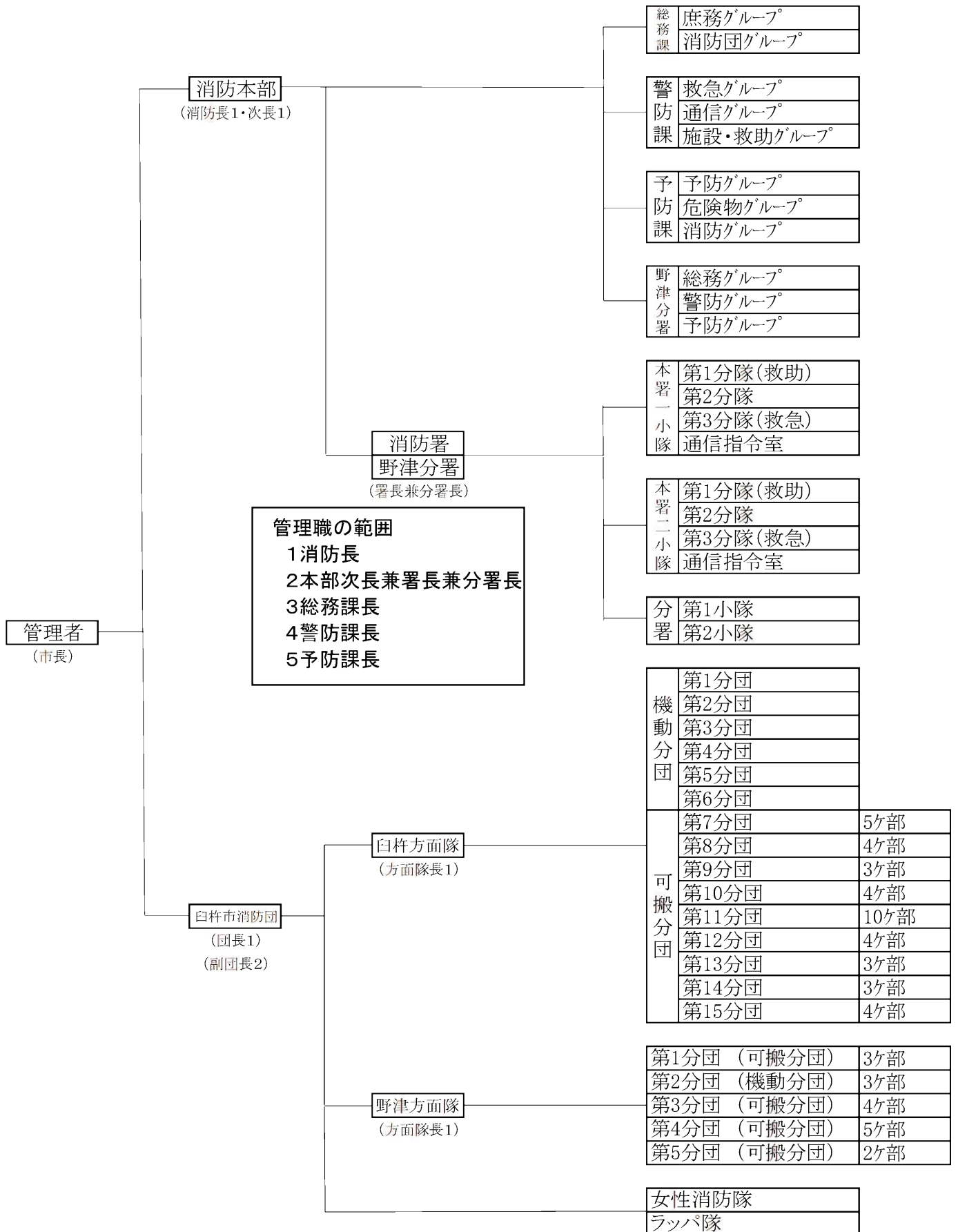
4. 野津分署のあゆみ

- 平成 17 年 1 月 1 日、臼杵市と野津町が合併し新臼杵市となる。
職員定数条例改正 65 名
常備消防は大野郡東部消防本部に事務委託とし、消防団は臼杵市連合消防団となり、臼杵消防団 500 名、野津消防団 300 名体制となる。
- 平成 18 年 野津分署配備予定の消防ポンプ自動車購入（災害対応：平成 17 年度国庫補助）
野津分署配備予定の高規格救急自動車購入
野津分署建築用地購入 7,744 m²
消防通信指令システム I 型配備により、野津管内対応・携帯 119 直接受信が可能となった。
- 平成 19 年 野津分署庁舎竣工…総事業費 204,892,250 円（土地取得費含む。）
（工期 18.6.1～19.2.20：建築面積 589.7 m²、延床面積 688.2 m²）
豊後大野市との消防及び救急業務委託解消（19.3.31）
野津分署の稼働…分署長以下 18 名体制（19.4.1）
消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、小型運搬車を分署に配備
旧野津救急自動車（2B 型）、旧野津消防団広報車を分署に配備
豊後大野市消防本部から職員 8 名の移管
- 平成 20 年 臼杵消防団、野津消防団が初の合同出初式を諏訪山グラウンドで挙行
野津消防団第 4 分団 3 部（石上）機械庫を新築移転
- 平成 22 年 野津消防団第 1 分団 3 部（王子）機械庫・詰所を新築移転
吉四六ランドにて、関係機関（県・市・医師会・自治会等）と合同で大規模災害訓練を実施
- 平成 23 年 野津消防団第 3 分団 1 部（西神野）機械庫を新築移転
ルルドの丘にて、防災ヘリ・DMAT との連携訓練を実施
- 平成 24 年 野津消防団第 5 分団 1 部（平野）機械庫・詰所を新築移転
- 平成 25 年 吉四六ランドにて、大型バス転落を想定した多数傷病者発生訓練を実施

- 平成 26 年 下藤地区において土砂災害想定防災訓練を実施
野津分署配備の広報車 3 を更新
- 平成 27 年 野津消防団第 4 分団 1 部（前河内本村）機械庫・詰所を新築移転
消防無線のデジタル化に伴い、野津分署固定局設備・白山基地局設備・車載
型移動局・携帯型移動局等を更新
消防団幹部にデジタル簡易無線機を配備
- 平成 29 年 台風第 18 号により、所々で消防団機械庫、消防車両、消防備品等の消防設備
が被災、各地に大きな爪あとを残す。
高機能消防指令センター構築に伴い、指令端末装置・気象観測装置・車載 A
VM等を更新 出動表示板・画像伝送装置等を新設
臼杵市連合消防団が一市一団制の「臼杵市消防団」となり、野津消防団が野
津方面隊と名称変更
- 平成 30 年 野津分署配備の高規格救急自動車を、最新型の高規格救急自動車に更新
(12 誘導心電図・心電図伝送装置を搭載)

5. 消防組織機構図

平成29年4月1日現在



6. 野津分署の事務分掌

総務グループ

- (1) 分署予算の編成及び会計事務に関すること。
- (2) 消防職員の福利厚生及び保健衛生に関すること。
- (3) 消防職員の各種手当に関すること。
- (4) 消防団員の教養及び訓練に関すること。
- (5) 消防団員の福利厚生及び保健衛生に関すること。
- (6) 消防団員の入退団に関すること。
- (7) 公務災害保障に関すること。
- (8) 他のグループの主管に属しない事務に関すること。

警防グループ

- (1) 救急救助用設備の維持管理に関すること。
- (2) 救急隊員の教養に関すること。
- (3) 救急指導に関すること。
- (4) 消防水利に関すること。
- (5) 消防通信に関すること。
- (6) 消防施設の設置、維持管理に関すること。
- (7) 消防機械器具及び燃料に関すること。
- (8) その他警防業務に関すること。

予防グループ

- (1) 火災予防の企画及び広報に関すること。
- (2) 防火対象物の立入検査及び指導に関すること。
- (3) 消防設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (4) 火災予防措置及び防火相談に関すること。
- (5) 危険物施設の立入検査及び保安指導に関すること。
- (6) 水火災等の警戒防御の計画に関すること。
- (7) 火災の原因調査及び損害に関すること。
- (8) 民間防火組織、自主防災組織に関すること。
- (9) その他予防業務に関すること。

7. 消防予算

(1) 消防費の概要

(単位：千円)

科目	年度 平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
常備消防費	460,425	461,825	472,185	492,865	492,815
非常備消防費	60,246	62,590	63,003	63,343	59,925
消防施設費	542,376	208,558	73,951	380,365	124,857
水防費	60	60	60	60	60
災害対策費	60,773	176,828	268,907	51,728	47,229
合計	1,123,880	909,861	878,106	988,361	724,886
人口一人当りの消防予算	26.8	22.0	21.5	24.5	18.2
一世帯当りの消防予算	64.9	52.5	50.8	57.1	41.9
消防職員一人当りの常備消防費	7,083.4	7,105.0	7,264.3	7,582.5	7,581.7
消防団員一人当りの非常備消防費	75.3	78.2	78.7	79.1	74.9

(当初予算額)

(2) 消防費と市一般会計予算

(単位：千円)

科目	年度 平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
市一般会計予算	19,677,591	19,790,115	21,134,403	21,836,804	20,678,446
消防費	1,123,880	909,861	878,106	988,361	724,886
比率	5.7	4.5	4.1	4.5	3.5

(当初予算額)

付記（積算根拠）

平成 25 年度・・・住民基本台帳人口	41,843 人	17,293 世帯
平成 26 年度・・・住民基本台帳人口	41,300 人	17,307 世帯
平成 27 年度・・・住民基本台帳人口	40,743 人	17,277 世帯
平成 28 年度・・・住民基本台帳人口	40,253 人	17,302 世帯
平成 29 年度・・・住民基本台帳人口	39,737 人	17,276 世帯

8. 消防職員の現況

(1) 野津分署職員の配置状況

平成29年4月1日現在

階級 所属等	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合計	14		3	1	4	2	4
分署長(署長兼務)	1		1				
分署長代理	1		1				
総務グループ	3				2	1	
警防グループ	4			1		1	2
予防グループ	5		1		2		2

(2) 野津分署職員の勤務年数

平成29年4月1日現在

階級 勤務年数	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合計	14		3	1	4	2	4
5年以下	2						2
6年～10年	3					1	2
11年～15年	5				4	1	
16年～20年							
21年～25年							
26年～30年	2		1	1			
31年以上	2		2				

(3) 野津分署職員の年齢構成

平成29年4月1日現在

階級 年齢	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合計	14		3	1	4	2	4
20歳以下							
21歳～29歳	5					1	4
30歳～39歳	5				4	1	
40歳～49歳	2		1	1			
50歳～59歳	2		2				

9. 消防庁舎等の現況

平成29年4月1日現在

所 属	名 称	所在地	分類	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
消防署	野津分署	宮原字小津留4267-1	公用財産	鉄骨平屋建	558.20	6,060.23
第1分団1部	第1分団1部 消防機械庫・詰所	八里合字福青田2039番1	地区所有	CB・木造2階建	60.00	144.00
第1分団2部	第1分団2部 消防機械庫・詰所	亀甲字塚田2448番地	地区所有	CB・木造2階建	64.00	140.00
第1分団3部	第1分団3部 消防機械庫・詰所	王子261番地1	公用財産	CB・木造2階建	56.00	77.00
第2分団1部	第2分団1部 消防機械庫・詰所	野津市922-4番地	公用財産	RC平屋建	138.00	515.53
第2分団2部	第2分団2部 消防機械庫・詰所	原字下藤1974	地区所有	RC平屋建	60.00	156.00
第2分団3部	第2分団3部 消防機械庫・詰所	都原1114番8	公用財産	木造平屋建	78.92	503.88
第3分団1部	第3分団1部 消防機械庫	西神野字上西神野1070番地	公用財産	RC平屋建	36.00	400.00
第3分団2部	第3分団2部 消防機械庫・詰所	泊字内平2904番1	地区所有	RC・モルタル2階建	40.00	78.00
第3分団3部	第3分団3部 消防機械庫・詰所	岩屋字長谷2170-1	地区所有	CB・モルタル2階建	36.00	288.00
第3分団4部	第3分団4部 消防機械庫・詰所	清水原836番地	地区所有	CB・モルタル2階建	48.00	234.00
第4分団1部	第4分団1部 消防機械庫・詰所	前河内字後久保1238番地	公用財産	RC平屋建	66.92	1,347.13
第4分団2部	第4分団2部 消防機械庫・詰所	吉田字川平173-3番地	地区所有	CB・モルタル2階建	48.00	120.00
第4分団3部	第4分団3部 消防機械庫・詰所	西畑2776-1	公用財産	木造平屋建	59.28	740.00
第4分団4部	第4分団4部 消防機械庫・詰所	西畑字東光寺5725-1番地	地区所有	CB・モルタル2階建	48.00	136.00
第4分団5部	第4分団5部 消防機械庫	東谷1255-3	地区所有	木造平屋建	40.00	150.00
第5分団1部	第5分団1部 消防機械庫・詰所	千塚101-1・101-1・103	公用財産	木造平屋建	55.05	270.00
第5分団2部	第5分団2部 消防機械庫・詰所	西寒田字鍋田2960番地	地区所有	CB・モルタル2階建	60.00	170.00

10. 車両・ポンプの状況

(1) 消防車両一覧表

野津分署

平成29年4月1日

所属	所在地	車別	車名	登録番号	登録年月日	経過年月	購入金額
野津分署	日当	No.4号車	日野	800さ6719	H18年01月16日	11年2ヶ月	22,680,000
		救急車1	日産	88 ず1505	H09年11月26日	19年4ヶ月	13,051,500
		救急車4	トヨタ	800さ6825	H18年02月24日	11年1ヶ月	3,003,000
		小型運搬車2	三菱	880あ 204	H19年03月14日	10年0ヶ月	1,119,480
		広報車3	トヨタ	800ず2177	H27年02月20日	2年1ヶ月	2,626,214

野津方面隊

野 1-1	福青田	積載車(軽)	ダイハツ	880あ 285	H19年12月18日	9年3ヶ月	1,942,500
野 1-2	塚田	積載車(軽)	ダイハツ	880あ1261	H29年02月27日	0年1ヶ月	2,808,000
野 1-3	水地	積載車(軽)	三菱	880あ 569	H22年12月21日	6年3ヶ月	2,252,250
野 2-1	野津市	ポンプ車	イスズ	800さ3209	H13年11月27日	15年4ヶ月	14,805,000
野 2-2	下藤	積載車	日産	88 ず2603	H10年12月15日	18年3ヶ月	2,992,500
野 2-3	新生	積載車	トヨタ	88 ず1550	H09年12月16日	19年3ヶ月	2,583,000
野 3-1	西神野	積載車(軽)	三菱	880あ 473	H21年12月15日	7年3ヶ月	2,304,750
野 3-2	内平	積載車(軽)	ダイハツ	880あ 286	H19年12月18日	9年3ヶ月	1,942,500
野 3-3	長谷	積載車	日産	800さ5892	H16年11月29日	12年4ヶ月	2,961,000
野 3-4	清水原	積載車	トヨタ	88 ず 613	H08年12月16日	20年3ヶ月	3,996,400
野 4-1	本村	積載車(軽)	ダイハツ	880あ 396	H21年01月15日	8年2ヶ月	2,047,500
野 4-2	川平	積載車	トヨタ	88 さ9756	H07年12月08日	21年3ヶ月	3,708,000
野 4-3	石上	積載車(軽)	三菱	880あ 568	H22年12月21日	6年3ヶ月	2,252,250
野 4-4	鼓石	積載車(軽)	三菱	880あ 472	H21年12月05日	7年3ヶ月	2,304,750
野 4-5	折立	積載車	日産	800さ6840	H18年03月01日	11年1ヶ月	2,919,000
野 5-1	平野	積載車(軽)	ダイハツ	880あ 395	H21年01月15日	8年2ヶ月	2,047,500
野 5-2	鍋田	積載車	トヨタ	88 さ9754	H07年12月08日	21年3ヶ月	3,708,000

(2) 小型動力ポンプ配備一覧表

野津分署

平成29年4月1日

所属	所在地	メーカー	型式	級別	セル	無給油	購入年月日	経過年月
野津分署	日当	シバウラ	TF745	B-2級	○	○	H19年01月26日	10年2ヶ月

野津方面隊

野 1-1	福青田	シバウラ	SF756MG	B-2級	○	○	H13年02月09日	16年1ヶ月
野 1-2	塚田	シバウラ	TF640MH	B-3級	○	○	H27年02月16日	2年1ヶ月
野 1-3	水地	シバウラ	SF756MG	B-2級	○	○	H13年11月28日	15年4ヶ月
野 2-2	下藤	シバウラ	FT450	B-3級	○	○	H29年01月20日	0年2ヶ月
野 2-3	新生	シバウラ	TF40MES	B-2級	○		H09年12月18日	19年3ヶ月
野 3-1	西神野	シバウラ	FT450	B-3級	○	○	H29年01月20日	0年2ヶ月
野 3-2	内平	シバウラ	TF640MH	B-3級	○	○	H25年12月27日	3年3ヶ月
野 3-3	長谷	シバウラ	TF640MH	B-3級	○	○	H25年12月27日	3年3ヶ月
野 3-4	清水原	シバウラ	FT450	B-3級	○	○	H29年01月20日	0年2ヶ月
野 4-1	本村	シバウラ	TF40MES	B-2級	○		H09年12月18日	19年3ヶ月
野 4-2	川平	シバウラ	TF640MH	B-3級	○	○	H27年02月16日	2年1ヶ月
野 4-3	石上	シバウラ	SF756MG	B-2級	○	○	H13年11月28日	15年4ヶ月
野 4-4	鼓石	シバウラ	SF756MG	B-2級	○	○	H13年02月09日	16年1ヶ月
野 4-5	折立	ラビット	P555	B-2級	○		H11年11月19日	17年4ヶ月
野 5-1	平野	ラビット	P555	B-2級	○		H11年11月19日	17年4ヶ月
野 5-2	鍋田	シバウラ	TF640MH	B-3級	○	○	H27年02月16日	2年1ヶ月

1 1. 消防資器材配置状況

平成29年4月1日現在

種 別	所 属					
	野津分署	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団
無線移動局	5	3	3	4	5	2
無線携帯局	11	6	7	7	8	5
消防ホース 65mm	61	57	68	73	96	41
消防ホース 50mm	27					
ホースブリッジ	3	2	3	5	4	1
油吸着剤	3					
三連はしご	1					
発電機	3	3	3	4	5	2
照明器具一式	3	4	3	4	5	3
ジャッキ	5	4	5	4	6	2
ジェットシューター	16	6	7	14	15	4
耐熱防火衣	18	9	13	10	15	7
防毒服	6					
空気呼吸器	4					
有毒ガス測定器	2					
油圧式救助器具	2					
救助用ボート	1					
潜水器具一式	2					
チェーンソー	1				1	
ストレッチャー (担架)	2					
バックボード	3					
手動式人工呼吸器	2					
携帯式人工呼吸器	2					
減圧式固定具	1					
電動式吸引器	2					
心電図モニター	2					
血圧計	3					
聴診器	2					
ショックパンツ	1					
AED	2					
輸液ポンプ	1					

12. 消防団の現況

野津方面隊定数表

平成29年4月1日現在

階級 分団名	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別 団員	計
	条例定数	1	5	6	17	68	189	10
野津方面隊	1							1
第1分団		1	1	3	12	26	2	45
第2分団		1	2	3	12	40	2	60
第3分団		1	1	4	16	36	2	60
第4分団		1	1	5	20	51	2	80
第5分団		1	1	2	8	36	2	50
ラッパ隊						19		19

※ラッパ隊員19名は分団員と兼務

野津方面隊地域別詳細表

人口等 分団名	団員 条例定数	人口			世帯数		
		H28. 4. 1 現在	H29. 4. 1 現在	増減	H28. 4. 1 現在	H29. 4. 1 現在	増減
計	296	7,995	7,850	-145	3,261	3,254	-7
野津方面隊	1						
第1分団	45	1,138	1,097	-41	438	434	-4
第2分団	60	3,026	2,981	-45	1,332	1,330	-2
第3分団	60	1,314	1,272	-42	545	539	-6
第4分団	80	1,692	1,683	-9	659	663	4
第5分団	50	825	817	-8	287	288	1

野津方面隊在職年数表

平成29年4月1日現在

人口等 分団名	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
野津方面隊	1						1	
第1分団	42	10	3	6	5	10	2	6
第2分団	59	8	10	9	13	8	5	6
第3分団	54	16	7	11	7	10	2	1
第4分団	75	15	19	22	11	7	1	
第5分団	50	11	9	14	6	10		

第2章

予防

1 3 火災発生状況

1 4 火災発生原因

1 5 防火対象物数及び査察回数

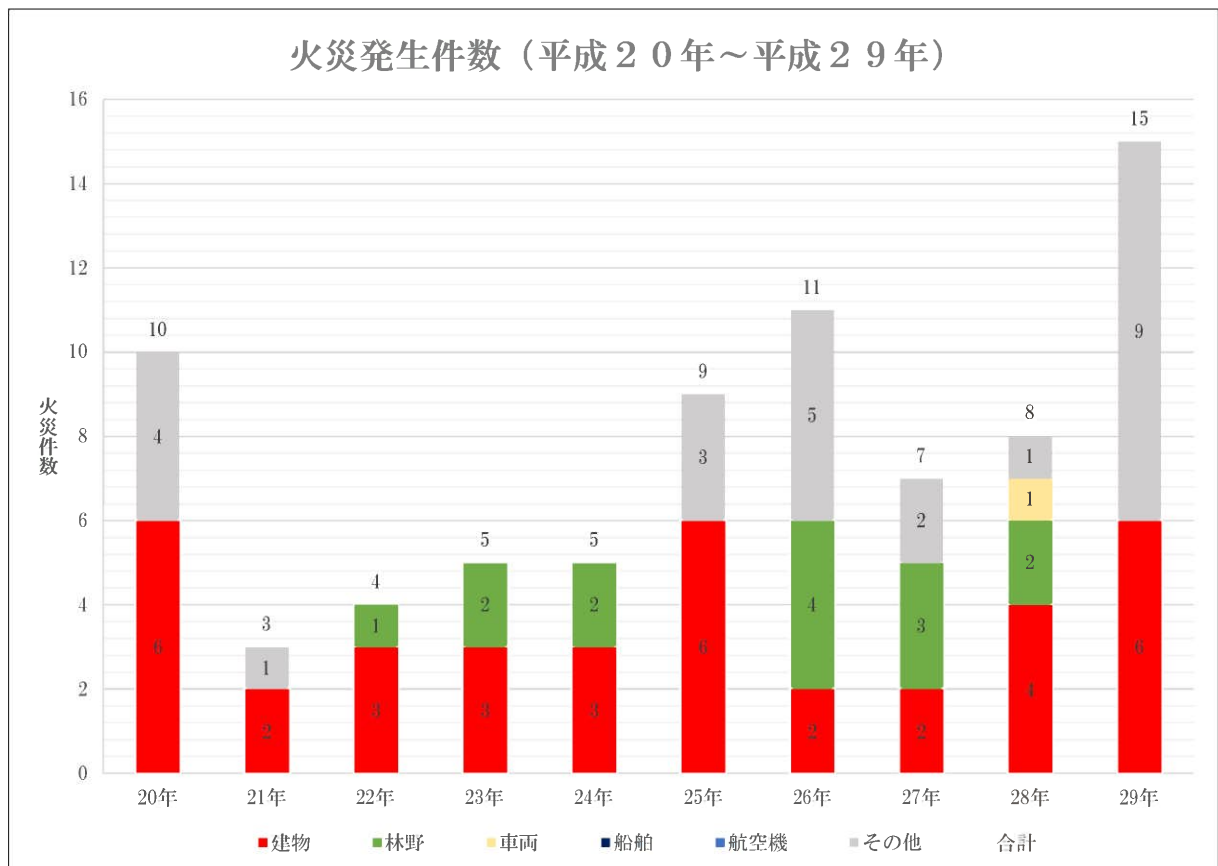
1 6 危険物施設の現況

1 7 自主防災会組織結成状況

13. 火災発生状況

火災発生件数（平成20年～平成29年）

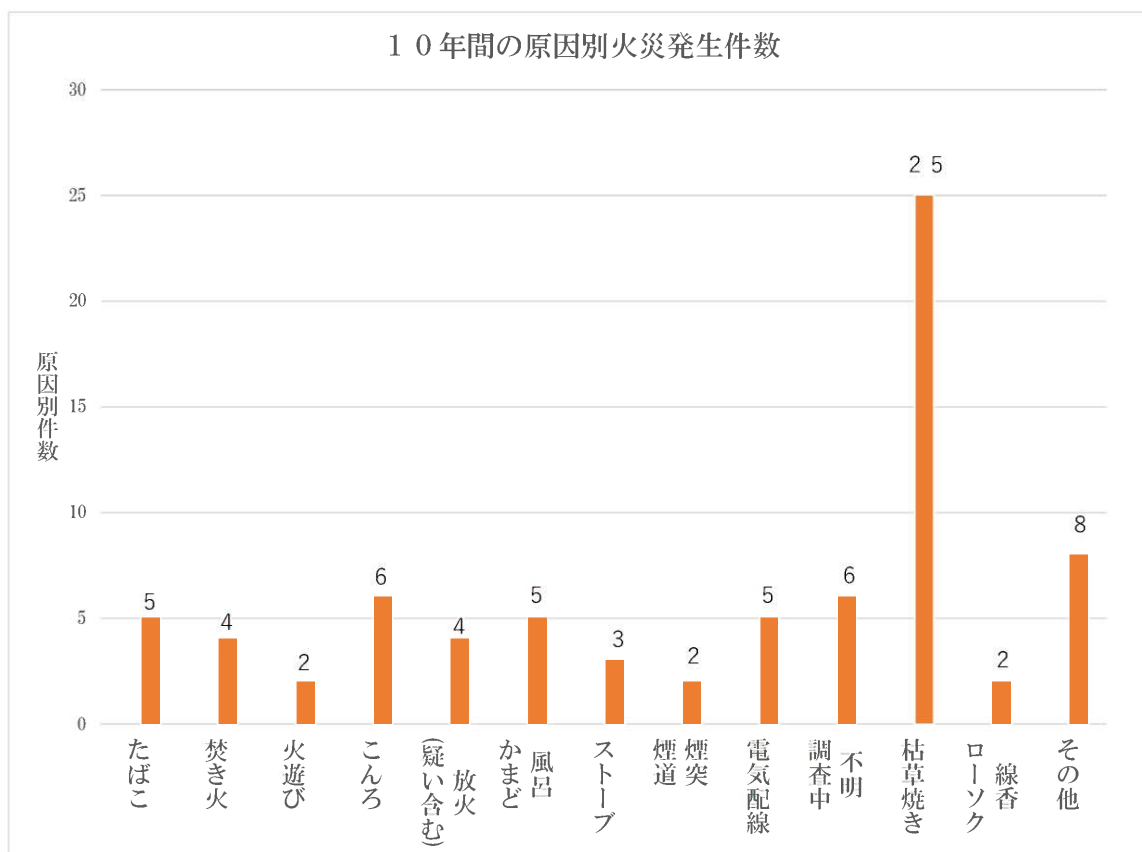
種別		年										合計
		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
合計		10	3	4	5	5	9	11	7	8	15	77
火災種別	建物	6	2	3	3	3	6	2	2	4	6	37
	住宅	4	1	1	3	2	3	1	1	1	4	21
	飲食店	1										1
	店舗			1								1
	旅館							1				1
	共同住宅		1									1
	病院											0
	福祉施設											0
	学校						1					1
	その他	1		1		1	2		1	3	2	11
	林野			1	2	2		4	3	2		14
	車両									1		1
	船舶											0
	航空機											0
その他	4	1				3	5	2	1	9	25	



14. 火災発生原因

火災発生原因(平成20年～平成29年)

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	合計
合計	10	3	4	5	5	9	11	7	8	15	77
たばこ				2			1	1		1	5
焚き火	1		1			1				1	4
火遊び		1				1					2
こんろ	2				1	2			1		6
放火 (疑い含む)								3		1	4
風呂 かまど			1			1	1	1		1	5
ストーブ	1		1				1				3
煙突 煙道	1									1	2
電気配線	2		1		1				1		5
不明 調査中		2		2					1	1	6
枯草焼き	2			1	2	2	8	1	3	6	25
線香 ローソク	1									1	2
その他					1	2		1	2	2	8



15. 防火対象物数及び査察回数

野津地域

防 火 対 象 物			対象物数	査察回数
				29年
1項	イ	劇場・映画館・観覧場	0	
	ロ	公会堂又は集会場	12	
2項	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	0	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	
	ハ	風俗店等	0	
	ニ	カラオケボックス他	0	
3項	イ	待合・料理店	3	
	ロ	飲食店	2	1
4項		百貨店・店舗・マーケット	7	1
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	5	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	8	
6項	イ	病院・診療所・助産所	6	
	ロ	老人短期入所施設等	8	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	9	2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	6	
7項		小学校・中学校・高等学校・大学校各種学校	10	
8項		図書館・博物館・美術館等	0	
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	0	
	ロ	一般の公衆浴場	0	
10項		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	0	
11項		神社・寺院・教会等	12	
12項	イ	工場・作業場	62	1
	ロ	スタジオ	0	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	3	
	ロ	航空機格納庫	0	
14項		倉庫	20	
15項		前各号に該当しない事業所	32	
16項	イ	複合用途防火対象物(特定用途部分を含む)	20	1
	ロ	複合用途防火対象物(特定用途部分を含まないもの)	5	
16項の2		地下街	0	
16項の3		準地下街	0	
17項		重要文化財建築物	0	
18項		アーケード(延長≥50mのもの)	0	
19項		市長村長の指定する山林	0	
20項		自治省令で定める舟車	0	
合 計			231	15

16. 危険物施設の現況

(1) 危険物施設の状況

平成29年4月1日現在

製造所	貯蔵所								取扱所				合計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
1	1	15	0	11	0	4	1	32	11	0	7	18	51

(2) 数量別危険物製造所等の数

平成29年4月1日現在

区分	倍数の別	合計	倍数の別						
			五倍以下	一〇倍を超え 一〇倍以下	一〇倍を超え 一五倍以下	一五倍を超え 一〇〇倍以下	一五〇倍を超え 一〇〇倍以下	二〇〇倍を超え 一〇〇倍以下	二〇〇倍を超え 二〇〇倍以下
合計		51	19	12	9	4	2	4	1
製造所		1					1		
屋内貯蔵所		1	1						
屋外タンク貯蔵所		15	7	5	2				1
屋内タンク貯蔵所									
地下タンク貯蔵所		11	6	4	1				
簡易タンク貯蔵所									
移動タンク貯蔵所		4	1	1	1	1			
屋外貯蔵所		1	1						
小計		32	16	10	4	1			1
給油取扱所		11		1	3	2	1	4	
販売取扱所									
一般取扱所		7	3	1	2	1			
小計		18	3	2	5	3	1	4	

第3章

警防

18 救急発生状況

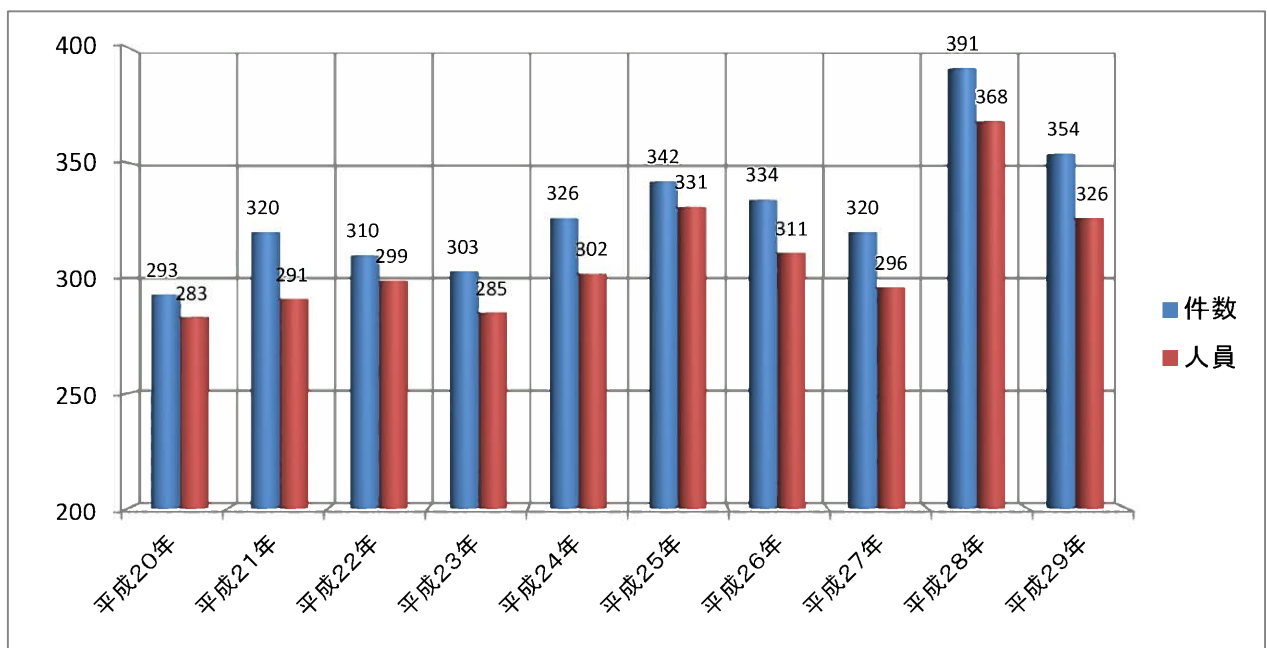
19 発生場所及び管外搬送人員の状況

20 消防水利の現有状況

18. 救急発生状況

野津管内

種 別 区 分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成20年	件数	293	1	0	0	28	5	2	34	0	2	178	43
	人員	283	1	0	0	31	4	2	33	0	1	172	39
平成21年	件数	320	0	0	1	28	2	0	45	0	5	178	61
	人員	291	0	0	0	24	2	0	41	0	1	167	56
平成22年	件数	310	0	0	0	29	2	2	44	0	2	187	44
	人員	299	0	0	0	28	2	2	44	0	2	179	42
平成23年	件数	303	0	0	1	27	1	2	37	0	3	196	36
	人員	285	0	0	0	26	1	2	37	0	3	182	34
平成24年	件数	326	0	0	0	31	3	4	53	1	3	193	38
	人員	302	0	0	0	31	3	4	52	1	1	177	33
平成25年	件数	342	0	0	1	33	1	1	55	0	4	201	46
	人員	331	0	0	0	35	1	1	54	0	3	193	44
平成26年	件数	334	0	0	0	30	5	0	53	1	2	206	37
	人員	311	0	0	0	27	5	0	49	0	2	196	32
平成27年	件数	320	0	0	1	25	4	1	60	0	3	194	32
	人員	296	0	0	1	26	4	1	56	0	2	179	27
平成28年	件数	391	0	0	0	39	1	2	55	0	2	234	58
	人員	368	0	0	0	39	1	2	53	0	2	224	47
平成29年	件数	354	0	1	0	25	3	1	58	1	3	215	47
	人員	326	0	1	0	22	3	1	54	0	0	201	44



19. 発生場所及び管外搬送人員の状況

(1) 発生場所別搬送人員調

区分 年	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計
平成20年	163	62	7	38	13	283
平成21年	172	82	1	25	11	291
平成22年	180	68	3	40	8	299
平成23年	185	59	4	23	14	285
平成24年	198	60	5	32	7	302
平成25年	181	80	4	50	16	331
平成26年	207	55	5	32	12	311
平成27年	189	54	5	30	18	296
平成28年	220	89	3	44	12	368
平成29年	194	81	5	30	16	326

(2) 年別管外搬送人員数の状況

区分 年	出動件数	搬送人員	管外搬送 件数	管 外 搬 送 先				管外搬送 の比率(%)
				大分市	豊後大野市	佐伯市	その他	
平成20年	293	283	240	121	107	8	4	84.8%
平成21年	320	291	264	189	67	3	5	90.7%
平成22年	310	299	253	201	47	4	1	84.6%
平成23年	303	285	232	200	28	4	0	81.4%
平成24年	326	302	238	195	34	7	2	78.8%
平成25年	342	331	248	221	19	6	2	74.9%
平成26年	334	311	222	190	24	8	0	71.4%
平成27年	320	296	224	139	73	10	2	75.7%
平成28年	391	368	260	157	94	7	2	70.7%
平成29年	354	326	267	179	79	3	6	81.9%

20. 消防水利の現有状況

平成29年4月1日現在

1 分団	1部			2部			3部			水利合計																
	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		詳細								
	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	80t	40t	20t	計	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋								
	7	15	5	7	7	6	3	5	5	7	2	4					19	28	47	0	26	0	26	10	16	
	水利合計			水利合計			水利合計			水利合計																
2 分団	1部			2部			3部			水利合計																
	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		詳細				
	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	80t	40t	20t	計	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋								
	26	4	6	4	26	2	14	1	6	7	4	8					58	13	71	1	34	2	37	24	13	
	水利合計			水利合計			水利合計			水利合計																
3 分団	1部			2部			3部			4部			水利合計													
	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		詳細				
	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	80t	40t	20t	計	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋								
	0	0	2	6	15	4	4	2	5	6	1	6	0	20	1	6	0	40	11	51	0	20	2	22	13	9
	水利合計			水利合計			水利合計			水利合計			水利合計													
4 分団	1部			2部			3部			4部			5部			水利合計										
	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		詳細				
	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	80t	40t	20t	計	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋								
	6	5	7	2	11	1	3	2	6	7	8	1	4	3	4	0	5	33	14	47	0	39	0	39	27	13
	水利合計			水利合計			水利合計			水利合計			水利合計			水利合計										
5 分団	1部			2部			水利合計																			
	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽	消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		消火栓		防火水槽		詳細				
	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	65mm	50mm	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋	80t	40t	20t	計	有蓋 無蓋	有蓋 無蓋								
	5	3	6	4	6	4	8	1									11	7	18	0	19	0	19	14	5	
	水利合計			水利合計			水利合計						水利合計													

水利合計					
消火栓		防火水槽		詳細	
65mm	50mm	計	80t	40t	20t
161	73	234	1	138	4
				143	88
					56

第4章

その他

2 1 気象の状況

2 2 野津消防団の沿革

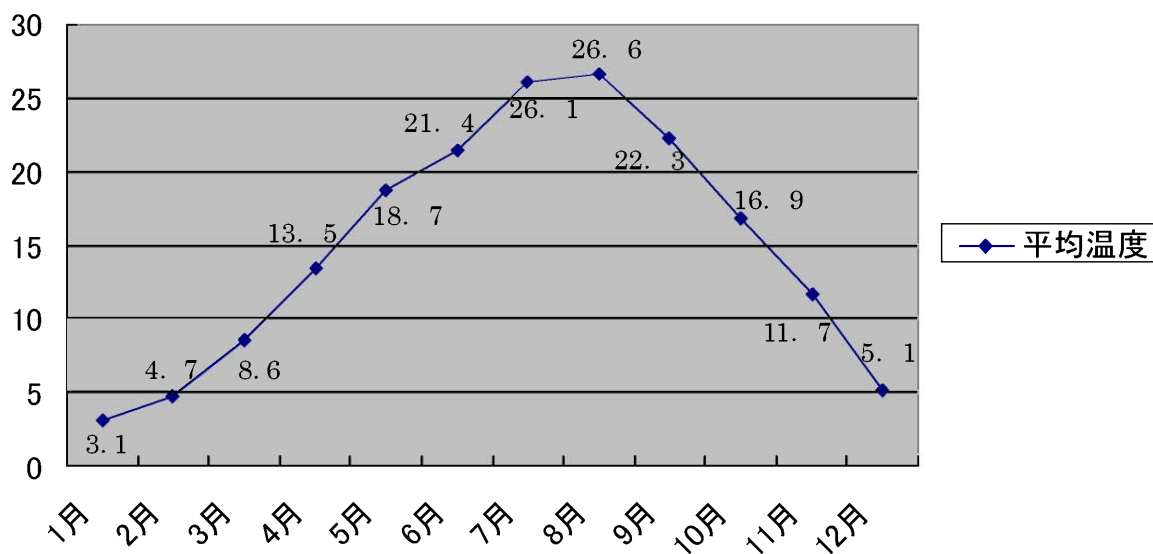
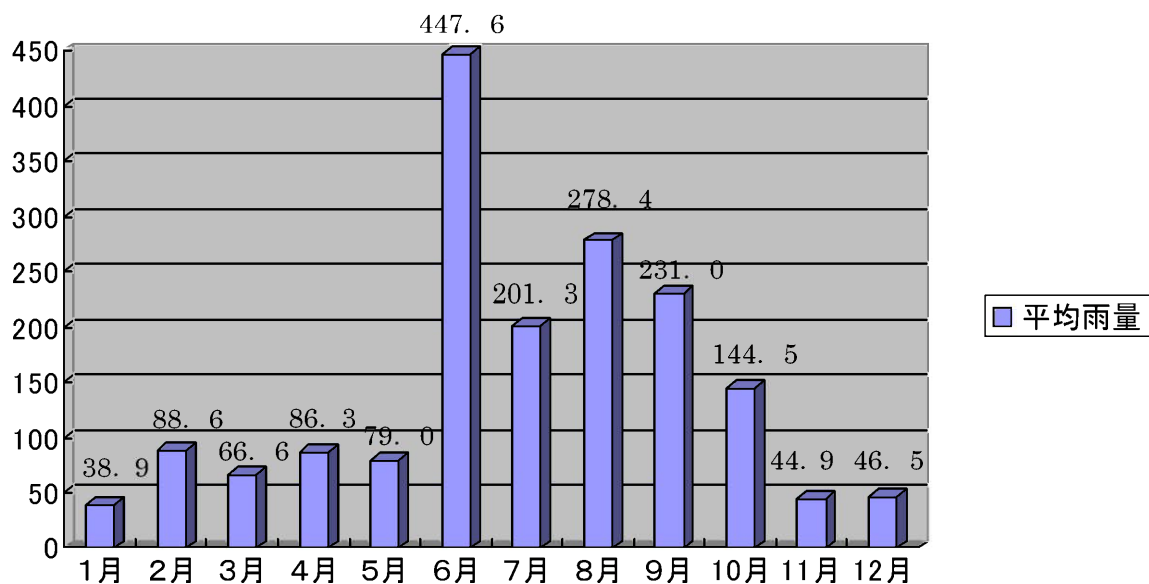
2 3 全国統一防火標語

2.1. 気象の状況

月別温度・雨量状況

平成23年～平成27年

月別 項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(℃) 5年間平均	3.1	4.7	8.6	13.5	18.7	21.4	26.1	26.6	22.3	16.9	11.7	5.1
雨量(mm) 5年間平均	38.9	88.6	66.6	86.3	79.0	447.6	201.3	278.4	231.0	144.5	44.9	46.5



【資料】

2 2 . 野津消防団の沿革

明治 23 年	町村制の施行後の翌年、消防団の前身である消防組が発足
明治 27 年	勅令により消防規則が公布（2 月 9 日）
明治 32 年	大分県消防規則施行細則（県令 13 号）が制定される 警察の指揮下に編入
昭和 14 年	消防団と名称変更
昭和 23 年	警察制度の一部門から分離独立（消防組織法第 226 号） 市町村独自の自治消防団として再発足 旧町村の消防団が合体し野津消防団として発足 本部を町役場に設置 分団数 23 分団 団員数 694 名 可搬ポンプ 25 台 手引きポンプ 1 台
昭和 34 年	野津町を中心に上下水道整備に伴い消火栓設備を設置 (平成 29 年 4 月現在 232 基)
昭和 40 年	消防ポンプ自動車購入 分団数 5 分団（17 部）、団員数 464 名に編成変更
昭和 45 年	野津町、三重町、清川村、千歳村、犬飼町の 5 町で大野郡東部消防組合が発足
昭和 54 年	各分団選抜でラッパ隊発足（各分団から 3 名、計 15 名）
平成 10 年	大分県消防協会から優良消防団表彰で纏受領
平成 17 年	市町村合併で臼杵市と合併
平成 19 年	野津町と臼杵市で臼杵市連合消防団を結成 臼杵市消防署野津分署を開設
平成 20 年	野津消防団に機能別消防団員（各分団 2 名）を置く 西神野地区（上西神野・下西神野）に消防団応援隊を置く（各 11 名） 野津消防団、臼杵消防団が初の合同出初式を諏訪山グラウンドで挙
平成 21 年	臼杵市民会館にて「平成 21 年度大分県消防大会」を開催
平成 25 年	臼杵市水防団として大分川・大野川水防演習に参加
平成 27 年	デジタル簡易無線 110 機を配備
平成 29 年	一市一団制に伴い、臼杵市消防団野津方面隊となる 団本部 定員 3 名、ラッパ隊 定員 1 名、女性消防隊 定員 12 名 臼杵方面隊 分団数 15 分団（40 部）、定員 488 名 野津方面隊 分団数 5 分団（17 部）、定員 296 名で編成

23. 全国統一防火標語（平成元年度～平成29年度）

平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
平成 2年度	先ず消そう 火への鈍感 無関心
平成 3年度	毎日が 火の元警報 発令中
平成 4年度	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”
平成 5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成 6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成 7年度	災害に 備えて日ごろの 火の用心
平成 8年度	便利さに なれて忘れる 火のこわさ
平成 9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度	たしかめて 火を消してから 次のこと
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年度	火は消した いつも心に きいてみて
平成17年度	あなたです 火のあるくらし 見はり役
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に